

# 2026 ズバリ! 的中



# 世界史

## 北海道大学

### ペスト（黒死病）の流行が与えた影響を説明する 論述問題がズバリ的中

#### 入試問題

前期日程 総合入試(文系)、学部入試(文)  
大問3 問2(ア)

3 次の文章を読み、問いに答えなさい。

感染症の流行と拡大は、人類の歴史の転換期において決定的な役割を果たしてきた。

ペストは早い時期からユーラシア大陸全域で流行を繰り返していた。14世紀のペストは「A」と呼ばれ、東西交易路を通じて中東へと広がり、その後ヨーロッパで流行して人口の3分の1が死亡したとされる。それはまた中世ヨーロッパの封建社会にも大きな影響を及ぼし、(1) 荘園制を動揺させていった。またユダヤ人がカトリック教徒の井戸に毒物を投入したことが疫病の原因であるとの流言が広められ、ヨーロッパ各地の都市ではユダヤ人の虐殺が発生した。

大西洋世界では、15世紀末からヨーロッパとアメリカのあいだで「コロンブス交換」と呼ばれるヒトやモノの移動が生じ、感染症も海を越えて拡大した。アステカ王国の滅亡や「B」の侵略によるインカ帝国の滅亡など「コンキスタドル」(征服者)による征服活動は、スペイン人がもたらした天然痘などの感染症がアメリカ先住民の人口を激減させた結果であり、天然痘がアメリカ大陸の植民地化の最も重要な要因となったと言われている。

19世紀には、世界人口の増加とともに都市化が進展し、技術革新による交通手段の発達に支えられ貿易や移民も増大した。これによって感染症の伝播も加速し、感染のリスクも増大した。コレラはもともとインドのベンガル地方の風土病であったが、1817年に世界規模での感染爆発を起こした。とくに産業革命期のイギリスでは、首都ロンドンや綿紡績で発展した「C」などの都市において労働者階級が劣悪な環境のもとで生活しており、コレラが蔓延して多数の死者が発生する事態となった。

20世紀になると、第一次世界大戦の末期に「D」と呼ばれるインフルエンザが大流行した。このインフルエンザは、1918年3月にアメリカ国内で最初に流行し、大西洋を越えて米軍の兵士や物資が大量に動員されたことによって、ヨーロッパ戦線のフランスにもたらされ、感染の被害が拡大した。1918年11月に停戦の協定が結ばれると、今度は復員する兵士によって世界に拡大した。被害が最も深刻だったのはインドであり、飢饉で栄養状態が悪化していたことで病気の抵抗力が弱まっており、1850万人が亡くなったとされている。

問2 下線部(1)について、(ア)ペストの流行が荘園制に与えた影響を説明しなさい。また(イ)荘園制が動揺するなか再び領主権力を強化しようとして、それに反発する農民の反乱が各地で勃発したが、それらのうちフランスとイギリスの事例をあげなさい。

#### 河合塾

大学受験科 基礎シリーズ 世界史演習編  
[テーマ・演習問題] 第9・10講[2]問6(イ)

[2] イブン・バトゥータと14世紀の世界

(4)北インドの支配者に仕えた後、旅を再開した彼は東南アジアを経由して中国へと向かい、(5)元の大都を訪問した。中国から戻った1348年頃には、(6)黒死病の流行でエジプトやシリアが大きな被害を受けた様子を目撃している。その後、一旦は故郷タンジールに帰るが再び旅に出かけ、イベリア半島やサハラ砂漠以南のニジェール川流域を訪れた。最終的に彼が旅行記の口述筆記を終えたのは1355年のことだった。イブン・バトゥータはきわめて広大な空間を旅したが、(7)行く先々でムスリムの同胞と出合っている。世界各地に広がるムスリムの紐帯やアラビア語・ペルシア語といった共通語の存在が、長距離におよぶ彼の旅を支えたといえる。

問6 下線部(6)について、(ア)黒死病の流行を背景とした物語集『デカメロン』を著した14世紀イタリアの人文主義者の名前を答えよ。また、(イ)黒死病が中世末期の西ヨーロッパに与えた社会経済的影響について90字以内で説明せよ。

#### 高3 1学期 世界史論述 第4講

##### ◆入試問題出題例◆

ペストの流行が西ヨーロッパの封建社会にもたらした影響を60字程度で説明しなさい。

(2015 和歌山大学)

##### 解答例

農村人口の激減で地代取入が減少し領主層は打撃を受ける一方、労働力確保のため農民待遇は改善され解放が進み、封建社会は動揺した。